

平成28年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

《 会員からの各市町紹介 》



■利尻富士町副町長 吉田 幹也

皆さんこんにちは。ただいま紹介のありました利尻富士町副町長の吉田と言います。私からは利尻富士町の紹介と観光振興等に対する取り組みについて発表させていただきます。利尻島は、日本100名山の1番目に登場する利尻山、通称利尻富士を中央に西側に利尻町、東側に利尻富士町の2つの町で構成された周囲約63km、面積が約182km<sup>2</sup>、人口が両町合わせて約5,000人の円錐形の離島です。本町には鴛泊港という地方港湾がありますが、平成26年3月にフェリーターミナル、海の駅鴛泊がバリアフリー対応の旅客施設として供用開始され、それを機会に体験や中々味わえない食の提供を行うイベント、港ビアガーデンの開催、ご当地キャラクターで観光客を出迎える観光客歓迎イベント、港絵画写真展、鴛泊港をスタートする利尻島1周ふれあいサイクリング大会の開催など、港からの賑わいの創出による地域活性化を図るため、様々な取り組みを行っております。

観光客入込数は平成15年の27万人をピークに年々減少し、昨年度は13万3千人と半減しています。一方、外国人宿泊客延べ数は、昨年度1,632人と年々増加しているものの宿泊客全体に占める割合は2.6%程度と少ない状況です。当町では昨年度策定した地方創生総合戦略で平成31年度までに観光客入込数を20万人にする目標を掲げており、観光資源の発掘や1年を通じた観光地作りを進めると共に増加傾向にある外国人観光客の誘致を積極的

に展開するなど、観光メニューの開発とそれに携わる人材の育成を推進して行く事としております。今年度は山岳イベントの開催、漁業等、産業遺産利活用調査、ご当地グルメの開発、サークル合宿の誘致、外国人観光客受け入れセミナーの開催などを実施又は予定しています。先日実施しました女子大学生のモニターツアーでは、宗谷シーニックバイウェイと連携し、自転車とバスを利用し体力に合わせ島を1周できる環境作りを目指した実証実験を行いました。また当町には北海道銘菓白い恋人のパッケージで使われている利尻富士が見える展望台がありますが、観光協会ではここでプロポーズしたカップルにプロポーズ証明書を交付しています。近年の旅行形態では、従来型の団体旅行から個人旅行に変化してきていることから地元から企画、提案できる着地型商品の開発を進めると共に、体験、滞在、交流を通じたそこでしか感じられない観光作りを目指していかなければならないと思っております。本日はありがとうございます。